大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう　立志の丘から

学校通信

平成２７年１１月９日
No.３０

新生徒会執行部決定　新体制スタート！

生徒会役員選挙等を経て、新執行部の体制が整いました。１１月６日には、生徒会・学級役員の認証式生徒会・学級役員の認証式及び３年生の専門委員長から２年生の新委員長に事務等の引き継ぎも行われ、新体制がスタートしました。

生徒会長　京極綾香
副会長　佐藤寛汰　加藤みなみ
書　記　外山　滉　鈴木紫苑
会　計　吉田亜由美
執行部員　佐々木大成　佐々木玲央　星宮大翔
寺山麻奈　堀江歩珠
斎藤綱介　髙橋大晴　斎藤菜摘

学校の元気・明るさは、生徒会で決まると行っても過言ではありません。立ち会い演説会ではどの候補者も前向きで、西仙北中学校をさらによくしていこうという気概を感じました。選ばれたリーダーを先頭に、全校一丸となって内外に誇れる西仙北中学校を確立していってほしいと思っています。

また、生徒会活動では、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としての生活づくり、協力して諸問題を解決していく力を養ってほしいです。明るく開かれた学校をつくりましょう。

今、いじめが原因と思われる中学生の痛ましい事案が報道されています。詳細は分かりませんが、先生方は全く気付かず、気付いていた生徒は何も言わず、本人も訴えずというような報道もあります。

まず、人のいやがることはしない（「己の欲せざるところは人に施すことなかれ」）、また、間違った言動の人を注意してやめさせる（「過ちて改めざる、これを過ちという」）、そして、傍観者にならない（「義を見てせざるは勇無きなり」）

いじめは人として絶対行ってはならないことです。

いじめは絶対に
「しない！　させない！　見逃さない！」

新生徒会には、このこともしっかり根付かせて、みんなが楽しくて毎日来たくなる学校をつくってくれることを期待します。

秋田大学　岩田教授による理科教員研修

４日には、本校理科室を会場に、秋田大学教育文化学部理科教育研究室　岩田吉弘教授による大仙市内小・中学校理科教員の研修会が開催されました。

この研修会は、大仙市教育委員会の「コロンブスの卵わくわくサイエンス事業」の一つです。

大仙市教育委員会では、大仙市、秋田県ではお医者さんが少ない現状や理数分野の研究に進む生徒・学生が少ないという実態を踏まえ、理数分野の教育の充実を期するとともに、理数分野への生徒の興味・関心を高めようと、「「コロンブスの卵わくわくサイエンス事業」を立ち上げました。

それが市内の中学生たちを首都圏の大学の医学部や理化学研究所、ＪＡＸＡ等の最先端の科学研究所等へ研修に派遣している事業であり、また、一方で現役理科教員のスキルアップ事業として、秋田大学等の先生方による教員の研修事業を行っている事業です。

本日は、「電気分解と電池、エネルギーの変換、燃料電池実験室」として、実際に燃料電池車を作成しながらの実験でした。水素爆鳴気の実験では、生徒と同様の行動が見られました。内緒ですが、「話をしっかり聞いてから実験しましょう」という岩田先生の指示がありました。

「燃料電池とは？　をしっかり理解できた」、という先生方の感想が聞かれました。岩田先生ありがとうございました。

3年生　小中学校音楽祭　出演

５日は「第５３回大曲仙北小中学校音楽祭」が、大曲市民会館で開催されました。音楽祭のキャッチコピーは、「響き合うとつながるね～言葉をこえて伝え合おう～」です。

本校は、３年Ａ組が「ＹＥＬＬ」を指揮：瓜生君、ピアノ伴奏：鈴木さん、３年Ｂ組が「今咲き誇る花たちよ」を指揮：佐藤君、ピアノ伴奏：嵯峨さんでそれぞれ合唱しました。そして最後に、結輝学年として学年合唱「流浪の民」を指揮：瓜生君、ピアノ伴奏：高橋さんで発表しました。

それぞれの学級合唱も、過日の校内合唱コンクールの時よりもさらに美しい合唱となっておりました。また、３年生全員でのステージでの合唱が最後という思いを込めて歌った学年合唱は、本当に心のこもったすばらしいハーモニーでした。ブラボー！！

主催者からの講評は次のとおりです。

３年Ａ組：この悲しいメロディの出だしの歌い方、女声の気持ちが込められていて、繊細な表現の仕方が印象的でした。男声のしっかりとした支えるような歌い方で全体がとても安定したハーモニーとなりました。曲にあった表現であったと思います。

３年Ｂ組：丸みのある音のピアノの前奏からとても素直な歌い方の女声、とても好感がもてました。女声、男声の声量のバランスがよく、また、音程も全体的によく、きれいなハーモニーでした。とても優しさが伝わってくる合唱でした。全員がしっかり指揮者を見て歌っている姿にクラスの絆の強さを感じました。最後の音が切れるところ、しっかり揃っていてＧｏｏｄでした。

結輝学年：「流浪の民」、この名曲である大曲に、よくぞ挑戦してくれました。この曲の難しさは、テンポの変化、強弱、ハーモニー、ダイナミクスなどをあげることができますが、どれも工夫されていて、すばらしい合唱となりました。ソロもすばらしかったです。ブラボー！　音程も正確できれいなハーモニーでした。

なお、音楽祭では本校の学年合唱の後に、大曲仙北小中学校の音楽の先生方２０名による合唱も披露されました。さすが音楽の先生方です。ほんのわずかな練習で臨んだとは思えない迫力のあるコーラスでした。

バドミントン全県秋季大会
女子団体準優勝！　男子団体3位！

７・８日は、美郷町総合体育館リリオスで、県内29校から137名が参加した第17回秋田県中学校秋季体育大会バドミントン大会が開催されました。

本校は、男子団体戦で、準決勝は1－１から3番勝負で敗れてしまいましたが、３位決定戦では、やはり１－１から最終ダブルスが勝ち３位入賞を果たしました。

女子団体戦では、準決勝で、１－１から３番勝負はフルセットにもつれ込みましたが、１年生ペアが勝負どころを踏ん張り勝ちました。決勝では、惜しくも敗れてしまいましたが、郡市大会から成長を感じさせる戦いぶりでした。準優勝おめでとうございます。東北選抜が待ってます。

また、男子個人戦シングルスでは、それぞれ１回戦を突破するなど、成長の跡が見られる大会でした。女子個人戦シングルスではデュース２９－２７を勝ち抜けるなど、手に汗握る試合もありました。
期待のダブルスでは、男子は惜しくも敗れ、女子は２ペアがベスト８に進出しました。

どの試合も郡市新人戦から成長の跡が見られました。また、ペアの組み合わせや出場種目、オーダーなど様々な挑戦が見られました。型を破り、可能性を広げられるよう今後の練習も頑張ってほしいと思います。お疲れ様でした。

なお、本校のシンボル「世界一のひまわり」は、来春、また、大きく美しく輝く「ひまわり」となるよう冬眠に入りました。春の登場をお待ちください。